

百歳体操が100回に到達 第21区「たんぽぽの会」

平成27年12月にスタートした第21区「たんぽぽの会」の「平泉いきいき百歳体操」が、2月5日で100回に到達しました。100回目となった5日も20人余りが参加し、体操で汗を流した後、おいしい昼食を囲んで節目を祝い、さらなる継続を誓いました。現在、町内では、11地区12団体が週1回の「平泉いきいき百歳体操」に取り組んでいます。体操に取り組んでみたい地区や団体などがあれば保健センターにご相談ください。



岩手県の魅力を広く紹介 企業ネットワークいわて2018 in 大阪

2月1日、大阪市のホテルモンテ大阪を会場に「企業ネットワークいわて2018 in 大阪」が開催されました。当日は、岩手県に由縁のある企業や今後立地が有望な折衝中企業などから約100人が参加。岩手県の立地環境、産業振興施策その他県の魅力と潜在能力を広く紹介することで、参加者は理解を深め、新たな投資のきっかけにつなげていました。当町からは青木町長が参加し、平泉町の魅力などについてPRしました。



DMOの可能性を探る 一関・平泉DMOセミナー

観光振興を官民一体で進める地域組織(DMO)の発足に向け、日本版DMO候補法人の登録申請を行った一関平泉イン・アウトバウンド推進協議会(松本数馬代表理事)は2月14日、「一関・平泉DMOセミナー」を平泉ホテル武蔵坊で開きました。株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションのマーケティングスペシャリストの木村洋さんが講師を務め、「せとうちDMO」の取り組みを紹介。参加者は先進的な取り組みを通じて、DMOの可能性を探りました。

平泉の食や邦楽の音色を楽しむ ひなまつりイベント「音で楽しむ平泉」

2月17日、「音で楽しむ平泉」(平泉ほっとする食のプロジェクト主催)が旅館アイリス悠で開かれました。このイベントは平泉を訪れる観光客の滞在時間を延ばし、町内での観光消費の拡大を図るイベントとして企画。平泉の食や邦楽の伝統的な音色、踊りなどを楽しむため、会場は大勢の人でにぎわっていました。またイベントでは、貝を使ったおひなさま作りも行われ、参加者は自分で作ったかわいらしいおひなさまに大満足の様子でした。

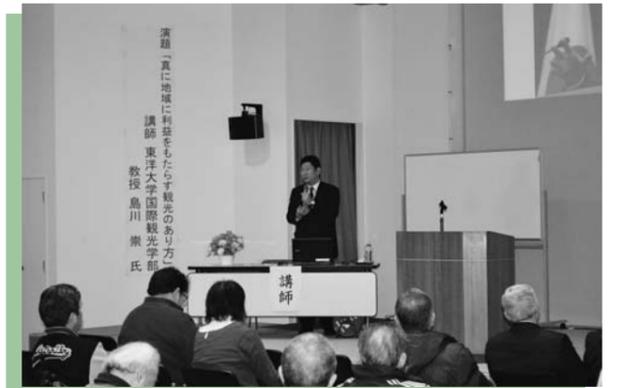


一年の幸福を願い豆をまく 中尊寺大節分会

中尊寺で2月3日、大相撲の北勝富士関(八角部屋)を招いて、恒例の「中尊寺大節分会」が開かれました。豆まきには北勝富士関のほか町内外から袴に身を包んだ厄年男女、年男・年女ら97人が参加。「福は内、鬼は外」の勇ましい掛け声に合わせて250*。余りの落花生が空を舞いました。また、町内の幼稚園や保育所園児による豆まきや抽選会も行われ、境内は大勢の参拝客でにぎわいました。

持続可能な観光地を目指して 世界遺産講演会

第18回世界遺産講演会が2月4日、平泉文化遺産センターで開かれました。講演会では、東洋国際観光学部教授の島川崇さんが「真に地域に利益をもたらす観光のあり方」と題して講演。島川さんは「観光には、メリットとデメリットがある。そのデメリットから目を背けることなく、その影響を最小限にして、メリットを享受できる仕組みを構築することで、持続可能な観光が実現できる」と話していました。



日頃の練習の成果を発表 町芸術文化協会舞台部門発表会

町芸術文化協会主催の平成29年度町芸術文化協会舞台部門発表会が2月17日、平泉小学校体育館で開催されました。町内13団体をはじめ、町民生児童委員協議会がスコープ三味線で友情出演。素謡や仕舞、三味線、踊り、詩吟、和太鼓など多彩な演目が披露されました。ステージ上で繰り広げられる出演者の素晴らしい発表に、会場に詰めかけた観客からは大きな拍手と声援が送られていました。



町内の入賞者を表彰 ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

第30回ライオンズ国際平和ポスター・コンテストの表彰式が2月14日、平泉中学校で行われました。平泉ライオンズクラブの瀧澤順昭会長(写真右)ら2人が優秀賞を受賞した同校2年高橋颯希さん(写真中央)に賞状などを手渡し、栄誉をたたえました。入賞者は次の通りです。(敬称略)▷優秀賞=高橋颯希(平泉中2年)藤原しずく(平泉小6年)佐藤華音(同)▷入選=三浦なつき(長島小6年)加藤楓花(平泉小6年)菅原光(同)▷佳作=岩淵華那(長島小6年)朝田心(平泉小6年)小野寺健心(同)小野寺優菜(同)